

第二十八回帝國議會 關稅定率法輸入稅表中改正法律案委員會會議錄(速記)第二回

會議

明治四十五年三月五日午前十時四十分開議

出席委員左ノ如シ

武藤 金吉君 大橋 賴摸君 村上 先君
濱名 信平君 太田 清藏君 森田 勇次郎君

出席政府委員左ノ如シ

大藏省關稅局長 櫻井鐵太郎君 農商務省工務局長 岡 實君

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

關稅定率法輸入稅表中改正法律案(武藤金吉君提出)

○委員長(武藤金吉君) 開會ヲ致シマス、私が提出者デアリマスカラ當席カラ説明ヲ致シマス、提出ノ理由ハ關稅定率法輸入稅表中ノ改正デアリマシテ、此表ノ百七十五號ニ現行法ハ「硫酸加里」トアリマスノニ、之ニ鹽化加里ノ四字ヲ入レマシテ「鹽化加里及硫酸加里」ト改正ヲ致シマス、ソレカラ「一精製ノモノ、從價ニ二割、二其ノ他、無稅、附則、本法ハ明治四十五年四月十日ヨリ之ヲ施行ス」ト云フデアリマス、此理由ハ鹽化加里ハ「精製」ノ製造ニ使用セラレトコロノ原料ノ「クロール」酸加里ノ原料ニ用井ラレルモノデアリマシテ、又一面ニ於テハ肥料ニ使フコトノ出來ルモノデアリマス、殊ニ此「クロール」酸加里及肥料ニ使フコトノモノハ關稅定率ニ於テ悉ク無稅デアリマス、鹽化加里從來ニ二割ヲ課セラレテ、稅率ノ權衡ヲ得テ居リマセヌ、尤モ此關稅定率法ヲ制定スル時分ニハ、多少見本位ノモノハ輸入ニナツテ居リマシタケレドモ、此鹽化加里ハ多ク輸入サレテ居リマセヌ、隨テ此硫酸加里又「クロール」酸加里同様ニ取扱ハルベキモノニハ加ハテ居リマセヌカラ、之ヲ無稅ニシテ貫ヒタイト云フノガ本案提出ノ要旨デアリマス、ソレデ此鹽化加里ハ日本出來ルモノデゴザイマセヌ、重モニ獨逸出來ルモノデアリマシテ、御手許ニ少シバカリ調査書ヲ印刷ニ附シテ差上ゲデアリマスカラ御覽ヲ願ヒマス、サウ云フヤウナ譯デアリマシテ、是ハ「精製」ノ原料ト致シマシテ「クロール」酸加里ガ出來ルモノデアリマスシ、之ヲ無稅ニスルト同時ニ肥料ニハ「莫桑」トカ馬鈴薯トカ云フヤウナモノニハ、ドウシテモ日本ノ如ク段々此加里肥料ノ——加里分ノ肥料ノ必要ニナツテ來ルニ於テハ、是ガ必要デアリマスカラシテ、是非共是ハ無稅ニシタイト云フノガ提出ノ理由デアリマスカラ、宜シクドウゾ御審議ヲ願ヒマス

○大橋賴摸君 チョット御尋シマスガ、サウスルト唯今御説明ニナリマシタ品目ハ、是ハ今マデノ關稅ノ稅率ノ中ニハ是ハ拔ケテ居ッタデアリマセウカ、サウスルト事實ハ斯ウ云フ輸入ニナツテ來タモノハ、稅率ガ無イカラヤハリ事實ハ無稅ニナツテ居リマシタカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 大橋君ノ御尋ニ御答致シマス、名稱ハ特ニ舉ゲテ居リマセヌガ、今マデハ斯ウ云フモノハ入ッテ居ルマイト思フノデスガ、今提出者ノ御説明ニナツタ通り、僅カニ見本のモノノ入ッテヤウデアリマス、若シ入ッテ居レバ二百二十九ノ——稅表ノ二百二十九ト云フノガアリマス「別號ニ掲ケサル藥劑化學藥及製藥」ト云

フコ、ハ入ルノデス、何々何々曹達トズット並ベテサウシテ一番ドンケツヘ別ニ前ニ掲ゲテナイ藥劑化學藥及製藥稅價ニ割トアルツレニ入ッテシマフ、若シ入ッテ來レバツレニナリマス(大橋賴摸君「取ルノデスナ」ト呼フ)從價ニ割トナツテ居リマシテ、若シ是ガ入ッテ來ルト鹽化加里ハ別ニ舉ゲテナイモノデスカラ、藥劑化學藥及製藥從價ニ割トツレニ入りマス

○大橋賴摸君 モウ一ツ御尋致シマス、今マデハ見本のニ輸入シ來ッタンデセウガ、今後ハ今ノ御説明ノ如ク是ガ精製ノ材料若クハ肥料等ニ使用ヲスルト云フコトニ付テハ、政府ノ方ノ御見込ハ是ガ殖エテ來ヤウト云フ御積リデセウカ、如何デセウカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 先刻申上ゲマシタ通り鹽化加里ハ此稅率ヲ作リマス當時入ッテ來タコトノナイモノデアリマシテ、ソレデ入ッタコトガアリマセヌ故ニ、特ニ一項目ヲ舉ゲテ其稅率ヲ幾ラノトスル程ノ必要ガ無カッタデス、併シ之ヲデス、無稅ニ致スト云フコトニ於テハ外國カラ之ヲ持ッテ參リマシテ、之ニ他ノ品物ヲ混ゼテ調合シテ肥料ヲ作り、或ハ更ニ手ヲ加ヘテ精製ノ原料ノ「クロール」酸加里トサウ云フモノニ製造スルコトガ自然起ラウト思ヒマス、詰リ無稅ニナレバ運賃ヲ掛ケテ持ッテ來テ、内地デ精製シテ引合フ、サウシテ之ニ二割ノ稅ヲ課セラレテモツレガ引合フコトニナル、内地デ肥料ノ製造人造肥料ノ製造所モ少ナイシ、又「クロール」酸加里ノ製造モナイ、無稅ニシテ初メテ之ガ入ッテ來ルト云フコトガ出來ラウト思ヒマス、又今後ハ入ッテ來ヤウト思ヒマス

○大橋賴摸君 尙重ネテ御問ヨ申シマスガ、是ハ精製ノ材料若クハ肥料ニ適切ナルモノデゴザイマス、併シ是ハ農商務省ノ方ノ關係ガ知リマセヌガ、此品目ハ果シテ將來益々必要ナモノデアッテ、精製ノ材料若クハ肥料上ニ適當ナモノデアッテ、之ヲ無稅ニシテ尙獎勵スルト云フト語弊ガアルカ知レマセヌガ、サウスレバ肥料上ニ於テ大ニ國家ノ助ケナリ、精製ノ原料ニ於テモサウ云フモノガ入ッテ來ルニ當ッテハ、之ヲ無稅ニシテモ尙且國家ノ爲ニ有益デアリマセウカ

○政府委員(岡實君) 斯ウ云フ關係ニナツテ居リマス、從來日本デ鹽化加里ハ出來ナイカト云フト出來テ居ル、ソレハ何處カラ出來ルカト云フト各地漁民ガ海藻ヲ取リマス、ソレヲ燒イテ灰度ヲ取ル、ソレカラ鹽化加里ヲ取ル、鹽ヲ取ルト云フヤウナコトヲヤツテ居リマス、海藻カラ取ル重ナルモノハ灰度デアッテ、其副產物トシテ鹽化加里ナリ鹽ガ取レルト云フヤウナ順序ニナツテ居リマス、ソレデ是マデ原料トシテハ多クハ海藻貝カラ取ル鹽化加里ヲ使用シテ居ッタ、所ガ今回鹽化加里ヲ日本デ拵ヘタイト云フ計畫ヲ持ッテ居ル當業者ガアリマス、ソレデ此鹽化加里ヲ日本デ拵ヘルト云フコトハ、是非共獎勵シナケレバナラヌ、一方ニ於テハ精製ノ原料ニナリマス、又他方ニ於テハ火藥ノ原料ニナリマス、此鹽化加里ハ從來ハ日本デハ出來テ居ラヌ、殆ド全部外國輸入デゴザイマシテ、四十二年度ニハ約百二十萬圓位ノ輸入ヲ見テ居リマス、重ナル灰度ハ精製ノ頭ノ藥ニ使ヒ、又陸軍省アタリ火藥ニ使フ、鹽化加里ハドウシテモ日本デ拵ヘタイト云フコトヲ農商務省モ餘程古カラ考ヘテ居リマスコトデアリマス、ソレガタメニハイロノ工業

試驗所試驗ヲ行ヒマシタコトガアリマシタ、又當業者ニ補助金ヲ出シテ研究サセタコトモアリマシタ、ソレデ此鹽酸加里ナルモノハ何カラ出來ルカト申シマスルト、鹽化加里カラ出來ルト云フ關係、今日日本デ鹽酸加里ヲ是カラ多ク拵ヘルニハ、日本ノ海藻カラ取レル加里ハ足ラナイト云フ關係ニナッテ來マス、内地デ出來ル鹽化加里ハ約千五百噸程出來ル、ソレデ鹽酸加里ヲ日本デ拵ヘヤウト云フコトニナッテ來ルト、其原料ヲ從來ノ日本ノ產額バカリデ仰イデ居ルコトガ出來ナイト云フコトニナッテ來マス、ドウシテモ海外カラ原料タル鹽化加里ヲ持込シテ、ソレカラ鹽酸加里ヲ拵ヘルト云フコトニナリマス、然ルニ其鹽酸加里ナルモノハ唯今ノトコロ無稅ニナッテ居リマス、是ガ無稅デ入ッテ居ル以上ハ原料タル鹽化加里ニ若シ日本デ稅ガ課シテ來ルト云フコトニナリマス、日本デハ電氣モ大變高ウゴザイマス、技術ノ方モ進シテ居ラヌ、若シ電氣ガ西洋ヨリモ廉ク又技術モ進シテ居ルト云フコトデアレバ、原料ニ二割ノ關稅ガ課セラレテモ其位ノコトハ技術デ補ヒ電氣デ補ッテ行クコトガ出來マスガ、幼稚ナル技術デ電氣モ比較的高イトシテ見ルト、原料ニ稅ノカ、ル以上ハ彼ノ地デ無稅デ入ッテ來ル鹽化加里ノタメニ、日本デ到底拵ヘルコトノ出來ナイ關係ニナッテ居リマス、ソレデ精製品タル鹽酸加里ガ無稅デアル以上ハ、其原料タル鹽化加里ヲ無稅デ入レテ、精製品タル鹽酸加里ヲ日本ニ於テハ輸入ヲ防グ計畫ヲ完成シナケレバナラヌ、其結果トシテ原料ヲ無稅ニスルト云フコトニ、農商務省ニ於テハ異議ハアリマセヌ

○大橋賴模君 唯今農商務省ノ御意見ヲ承リマシタガ、關稅上ノ關係ニ於テアレハ無稅ニシテ、益々獎勵スルト云フコトニ對スル政府ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(櫻井鐵太郎君) 大藏省ノ關稅ノ方ノ關係カラ申シマスルト、此改正案ハ極ク適當ナ改正案デ、全然同意ヲ表シマス、斯様ニ改正ニナリマシテ初メテ他ノ品物トノ稅率ノ權衡ガ取レルコトニナラウト思ヒマス、ソレカラ若シ鹽化加里ガ入ッテ參ルトスレバ二割ノ稅ヲ課スル答デアリマスガ、實際入ッテ居ナイ、之ヲ無稅ニシタコトコガ稅ガ減ル譯デアリマセヌ、今マデ入ッテ居ナイモノヲ無稅ニシテモ何モ豫算ニ響キマセヌ、而シテ他ノ物ノ權衡カラ考ヘテ無稅ニスルトハ適當ナルコトデアルト考ヘマス、肥料バカリデナク鹽酸加里ノ原料ガ内地デ足ラナイ、原料品ヲ外國カラ入レルニハ無稅ニスルトハ、是ハ關稅定率法ニ於テノ執ッテ居ル方針デアリマスカラ、全然同意ヲ表シマス

○森田勇次郎君 先程農商務省ノ政府委員ノ御話ニ依ルト、鹽化加里ハ海藻カラ鹽度ヲ製造スル場合ニ副產物トシテ製造サレテ居ルト云フコトデアリマスガ、鹽化加里ヲ無稅デ入レルトスレバ内地ノ其副產ニ對スル影響ハドウ云フコトニナリマセウカ、是マデ這入ッテ居レバ格別、若シ入ッテ居ラヌト云フコトニハ無論副產物トシテ、相當ニ之ガ賣リ擴ゲラレテ鹽度製造ノ利益ヲ達スル譯デアリマセウカ、無稅ニシテ澤山這入ッテ來ルトナレバ内地デ製造スル品物ト云フモノハ壓倒サレハシナイカト思ヒマスガ、ドウ云フヤウナ關係ニナッテ居リマスカ

○政府委員(岡實君) 其點ニ付キマシテハ漁業者ノ副業トシテ海藻ヲ取ル、ソレカラ鹽度ヲ取ルト云フヤウナ關係デアリマスガ、若シ假ニ無稅ニシテ鹽化加里ガ這入ッテ來ルコトニナレバ、内地ニ於ケル鹽度製造業ノ利益ヲ害シハシナイカ、斯ウ云フ御尋ト考ヘマシタガ、其點ハ全ク心配ナイト考ヘテ居リマス、ソレハドウ云フ譯カト申シマスルト、内地デ

出來ル鹽化加里ハ副產物トシテ出來ルト云フタメニ、比較的價ガ廉イノデゴザイマス、最近ニ於ケル相場ヲ開イテ見マスルト、内國品ハ一圓ニ付テ約四貫目ト云フ價デアリマス、所ガ外國品ハドウカト申シマスルト假リニ是ガ無稅ニ入ッテ來ルモノト見デモ、一圓ニ付テ二貫八百目シカ異レナイ、餘程内地ノ方ガ廉イノデス、ソレデ是カラ先ヅ鹽化加里ヲ拵ヘルニシテモ、出來ルダケハヤハリ内地ノモノヲ使ッテ行カウ、斯ウ云フ傾キニナルダラウト思ヒマス、併シ内地ノモノノダケデハ到底間ニ合ハヌト云フコトニナッテ參リマスカラ、少シハ高クトモ外國品ヲ買ハナケレバナラヌ、内地ノモノハ先キニ利用サレル、其補充トシテ今度外國品ガ使ハレルト云フコトニナルノデゴザイマスカラ、御心配ノ點ハ先ヅ無カラウト考ヘテ居リマス

○森田勇次郎君 私人關稅ニ關シテ自分ノ抱イテ居ル主義ノ上カラ御尋スルンデヤナイノデスガ、今日行ハレテ居ル關稅主義ノ上カラ、唯其關係ヲモウ一ツ御尋リマシタイ、是マデ餘リ肥料ノ原料トシテ此鹽化加里ハ餘リ多ク入ッテ居ラナカッタガ、近頃ニナッテ大ニ是ガ必要ヲ感シテ來タ、將來又大ニ増加スルデアラウ、ソレ故ニ此場合ニ之ヲ無稅ニシテ置イタ方ガ宜シイト云フ御提案デモアリ、政府委員ノ御說明デモアルノデアリマスガ、必要ガ茲ニ生ズル、而シテ内地ノ製造ハ外國品ヨリモ殆ド半額廉ク出來ル、斯ウ云フコトデアッタナラバ、内地デハ大ニ之ヲ廉ク供給スルコトガ出來ルノデアリマスカラ、大ニ製造ガ起ラナケレバナラヌ答デアリマス、サウシテ其原料ヲ造ルモウ一步先ノ原料、即チ海藻ト云フモノハ日本ノ廣イ沿岸デ無盡藏ニ供給ノ出來ルモノデアリマスカラ、ソレ程必要ガアッテ利益ノアル品物ナラバ、農商務省ガ是ヲ獎勵シテ造ラシメドレ程デモ供給ガ出來サウニ思ハレル、其點カラ言ヘバ内地デ造ッテモ賣レル、内地ノ供給ニハ内地カラ之ニ應ズルヤウニシタナラバ、至極國益上カラ言フデモ宜シクハナイカ、内地ノ品物ハ殆ド輸入品ヨリモ半額廉ク出來ルノデアリマスカラ、輸入品ニ稅ヲ取ッテ防グ必要ハナイ、之ヲ又一面カラ見レバ輸入品ニ幾分關稅ヲ課ケテ置ケバ、尙一層内地ノ供給ヲ豐富ニシテ、サウシテ國產ヲ起スコトガ出來ルト考ヘラレル、ソレハドウ御考ニナッテ居リマセウ、現在ノ關稅一般主義ト云フモノハ、全ク保護主義デ出來テ居ルノデアアル、少シデモ内地デ出來ル品物ハ内地デ製造セシメヤウト云フ爲ニ、外國品ニ關稅ヲ課スルト云フノガ總テノ主義ニナッテ居ル、是ハ私ノ喜ブベキ主義デナイ、寧ロ反對スル方デアリマスケレドモ、出來テ居ル關稅ノ主義ノ上カラ云ヘバ、此鹽化加里ガ日本デ十分出來ル、而モ安ク出來ルト云フナラバ、外國品ヲ防イテ内地ノ製造ヲ盛ニシタ方ガ宜カラウト思フ、是ハドウ御考ニナリマスカ

○政府委員(岡實君) 今ノ御尋ニ對シマシテハ鹽化加里ヲ專業トシテ造ルコトガ出來ルヤ否ヤト云フコトヲ御說明ヲ致シマシタナラバ、自ラ御解リニナルコトト考ヘマス、ドウモ海藻カラ鹽化加里ヲ專業トシテ取ルト云フコトハ、ドウシテモ引合ハヌノデゴザイマシテ、主トシテ此鹽度ヲ取ル、其鹽度ヲ取ル傍ラ其鹽化加里ハ自ラ出來テ來ルト云フコトデ、始メテ鹽化加里ガ日本デ產スル、ソコデ鹽度ナルモノハ將來ソレデハ今日ヨリモ一層多ク鹽度ヲ拵ヘルコトニスレバ、隨テ副產物モ殖エテ來ヤウデヤナイカト、云フ點ガ第二ノ問題トシテ起ルコトト考ヘマスガ、所ガ此鹽度ハ日本ノ内地ノ需用ニハ殆ド限度ガアルノデゴザイマシテ、外國ハドウカト申シマスルト、外國ニ於テ鹽度ヲ非常ニ安ク拵ヘル方

法ガアルノデゴザイマス、外國沃度ガ却テ日本ヘ入ッテ來ヤセヌカト云フヤウナル配モアル
ノデ、此前ノ稅關定率法ノ改正ノトキハ、沃度ニ對シテハ特ニ保護ヲシタト云フヤウナ
關係モアル、外國デハ此沃度ガ安ク出來ル「シンデケート」ガゴザイマシテ「シンデケート」ノ
力デ稍、價ヲ高メテ居ルト云フコトデアリマス、日本ノ沃度ノ海外ニ向ッテドン／＼出ル
ト云フコトハ、今日望ミ難イコトニナッテ居ル、唯今ノトロコデ沃度ハ凡ソ十八万磅出來ル
ノデゴザイマスガ、先ヅ是ダケノモノヲ拵ヘテ、是ガ極度デアラウ、此以上沃度ヲ拵ヘテ其
結果トシテ副產物ノ鹽化加里ヲ取ルト云フコトハ、此以上ニハムツカシカラウト考ヘテ居
リマス

○森田勇次郎君　モウ少シ續イテ御尋ヲシタイ、私ハ化學上ノ知識ハ全ク無イノデア
リマスカラ、甚ダ素人ラシイ御尋デスガ、沃度ノ副產物トシテ唯今鹽化加里ハ幾分出
來テ居ルガ、鹽化加里ノ需用ガ大分多クナッテ、唯今ノ有稅ヲ無稅ニシテモ是ガ輸入ヲ
盛ンニシナケレバナラヌト云フ必要ノ生ジテ居ルモノトスレバ、此沃度ノ製造ヲ主トシテ鹽
化加里ハ副產ト云フコトニセズニ、鹽化加里ヲ造ルト云フ目的ヲ以テ海藻カラ製造スル、
其場合ニハ其價ガ外國品ヨリモ廉ク出來ルト云フヤウナ風ニハ往カヌモノカ、又外國ノ
鹽化加里ハ、日本ノ沃度製造ノ場合ニ副產物トシテ生ズルト云フ製造方デハナク、別
ニ何カ大層廉ク出來ル方法ガアッテ、供給ガ澤山ニサレルノデアラウカ、日本ニ於テハ詰
リ沃度ノ副產ト云フコトヨリシテ鹽化加里製造ノ事業ハ起ル、ソレヲ專門ニ造ルト云フ
御見込ハナイノデアリマスガ、ソレヲ最後ノ御尋ニ問ウテ置キタイ

○政府委員(岡實君)　唯今ノ調べデハ海藻貝カラ加里及鹽ヲ取ルト云フコトハ、全ク
沃度ノ副業ニナッテ居ル、將來若シ假リニ鹽化加里バカリヲ取ル目的デ、海藻貝ノ事業
ヲ起スト云フコトニナルト、大變此鹽化加里ノ製產費ガ高クナルノデスナ、其高クナル結
果ハ到底此外國品ヨリモ尙高クナルト云フヤウナ關係ニナッテ參リマシテ、詰リ引合ハヌ
ト云フコトニ歸著スルヤウニ考ヘラレテ居リマス

○大橋賴攬君　私ハ唯今關稅局長ノ意見竝ニ農商務ノ意見ヲ伺ッテ見ルト、詰リ
此本品ヲ無稅ニシタトコロガ、收入ノ上ニ何等ノ影響ガ無キノミナラス、又農商務省ト
シテ營業者ヲ獎勵スル上ニ於テ必要ナリト云フコトデアリマスカラ、私ハ此原案ヲ全然
贊成致シマス

○委員長(武藤金吉君)　大橋君カラ贊成ノ動議ガ出マシタガ、御異議ハゴザイマセヌカ
〔贊成々々〕ト呼フ者アリ

○委員長(武藤金吉君)　ソレデハ全會一致ヲ以テ可決ヲ致シマス、散會ヲ致シマス

午前十一時十一分散會

明治四十五年三月五日印刷

明治四十五年三月六日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局